

試験圃場：福岡県久留米市北野町  
試験報告者：樽見 伸介

## 平成 28 年 7 月 21 日(木) 定植

グリーンリーフ苗はプラグトレイにて約 2,000 株分を今回定植。事前に薬剤処理の段階で「発根力」との混合液で浸漬を考慮していたが、薬剤処理はすでに終わっていたため、定植直前の水浸漬(定植時のトレイ離れをよくするため)の作業過程に「発根力」500 倍溶液と通常の水の 2 つを用意。定植する畝は 2 畝あり、1 畝を「発根力」試験区、1 畝を慣行区とした。



右が発根力 500 倍溶液、左が水



発根力 500 倍溶液に苗を浸漬



浸漬する時間は約 10 分ほど

## 平成 28 年 7 月 28 日(木) 定植 1 週間後の状態



定植～1 週間経過後「慣行区」



定植～1 週間経過後「発根力区」  
すでに葉の広がりが大きく元気がある



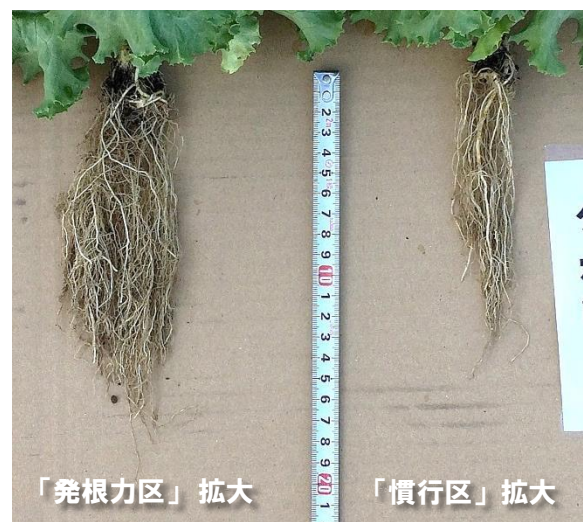
定植作業中。右の畝が「発根力」区

## 平成 28 年 8 月 10 日(水) 抜き取り調査

植え付けから 20 日後、根の活着頃に「発根力区」と「慣行区」の根量比較を行った。発根力の施用は定植時、苗のドブ浸け一回のみであったが、根量に大きな差が確認できた。



定植～20 日経過後「発根力区」と「慣行区」の根の比較。「発根力区」は発根力 500 倍溶液に 10 分間どぶ浸けして定植を行った。その後の施用はしていないが、大きく差が出た。



根を拡大して見ると、「発根力区」は細根の量がかかなり多く、養・水分の吸収もスムーズだと思われる。